

みずほCustomer Desk Report 2020/01/08号(As of 2020/01/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.45
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.41	1.1196	121.37	1.3171	0.6938
SYD-NY High	108.63	1.1197	121.44	1.3210	0.6942
SYD-NY Low	108.27	1.1134	120.80	1.3095	0.6860
NY 5:00 PM	108.46	1.1156	120.82	1.3120	0.6870
NY DOW	28,583.68	▲ 119.70	日本2年債	-0.120	2.00bp
NASDAQ	9,068.58	▲ 2.88	日本10年債	-0.020	1.00bp
S&P	3,237.18	▲ 9.10	米国2年債	1.5374	▲ 0.81bp
日経平均	23,575.72	370.86	米国5年債	1.6033	▲ 0.33bp
TOPIX	1,725.05	27.56	米国10年債	1.8099	0.18bp
シカゴ日経先物	23,375.00	30.00	独10年債	-0.2855	0.25bp
ロンドンFT	7,573.85	▲ 1.49	英10年債	0.7900	2.25bp
DAX	13,226.83	99.84	豪10年債	1.2160	0.65bp
ハンセン指数	28,322.06	95.87	USDJPY 1M Vol	5.06	▲ 0.14%
上海総合	3,104.80	21.39	USDJPY 3M Vol	5.30	▲ 0.15%
NY金	1,574.30	5.50	USDJPY 6M Vol	5.70	▲ 0.10%
WTI	62.70	▲ 0.57	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	186.93	▲ 0.46	EURJPY 3M Vol	5.78	▲ 0.10%
ドルインデックス	96.99	0.32	EURJPY 6M Vol	6.13	▲ 0.10%

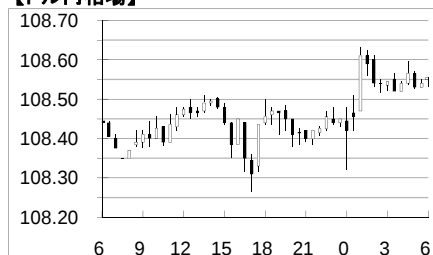
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月7日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 1.0%	0.7%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.3%/1.3%	0.3%/1.3%
	19:00	欧 コアCPI・速報	12月 1.3%	1.3%
	22:30	米 貿易収支	11月 -43.1B	-43.6B
1月8日	00:00	米 ISM非製造業指数	12月 55.0	54.5
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	11月 -2.1%	-2.0%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	11月 -0.1%	-

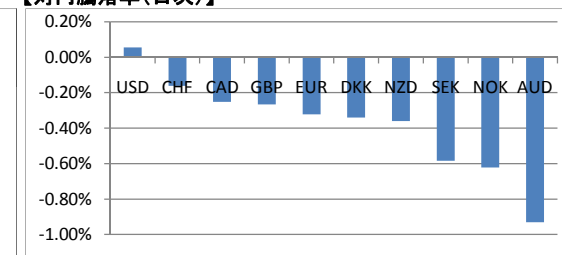
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月8日	16:00	独 製造業受注(前月比)	11月 0.2%	-0.4%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	12月 -	-8.1
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 160K	67K
1月9日	00:00	米 プレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 中東情勢は潜在リスクに

昨年に続き、今年の大発会も波乱の幕開けとなった2020年の株式相場であるが、今年の正月休みの話題の中心となったのは、中東であった。もともと、中東各国においては正月も休みでない国が多いのではあるが、新年早々に舞い込んできたイラン革命防衛隊の特殊部隊であるコッズ舞台のソレイマーニー司令官が暗殺されたとの報道は、世界を大きく揺るがすに十分な内容であった。昨今中東において対立が深まる宗派間の争いにおいて、イランやイラクをはじめとしたシーア派陣営における同氏の存在がいかに大きかったかというのは各種報道の通りであるが、それ故に今回の一件が今後に与える影響は無視できないものと考えられる。その一方、中東における地政学リスクを材料にしたテーマは、マーケットでは長続きしないということも、今やコンセンサスの如く語られており、本邦株式相場も新年二日目にして、大きく買い戻される展開となっている。とは言え、アメリカとイラン、中東における反イラン対親イランをめぐる睨み合いは、いよいよ本格化した状況と言って差支なく、時機を見てイラン側からの報復が行われることは間違いないだろう。2020年早々に暗い話で残念ではあるが、マーケットとして今年認識すべき潜在リスクがまた一つ出てきたところか。今後、中東情勢をめぐって新たな材料が出てきた際には、新年早々の市場の値動きはメルクマールになるであろう。リスクセンチメントの悪化と原油価格の上昇が特徴的な値動きで、為替市場に置き換えると、円やドルが上昇し、原油純輸入国で経常収支が赤字となる一部の新興国通貨の下落が印象的な値動きとなった。(伊藤貴)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
10	10

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682